

## 会 議 録 (案)

会議の名称	平成26年度 第2回環境審議会
開催日時	平成27年2月18日(水) 10時から11時まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	【委員】勝村委員、二宮委員、伊藤委員、伊藤委員、加納委員、石崎委員、小野委員、川崎委員、渡邊委員 【事務局】湊みどり環境部長、東原みどり環境部副参与、田中みどり環境部主幹、貫井主任、本谷主事 【傍聴人】0名
議 題	1 開会 2 議題 (1) 平成26年度第1回審議会会議録(案)の確認について (2) 第2次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について (3) 西東京市環境マネジメントシステム運用状況報告について (4) 平成25年度西東京市環境白書・環境活動レポート作成について (5) その他 6 閉会
会議資料の名称	【事前資料】 資料1 平成26年度第1回環境審議会会議録(案) 資料2 平成25年度西東京市環境白書・環境活動レポート 【当日資料】 資料 西東京市第2次環境基本計画(平成26年度～平成35年度)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度第2回環境審議会を開催する。</li> <li>・欠席は田中委員、議題は次第のとおりとなる。</li> </ul> <p>2 議題</p> <p>(1) 第1回環境審議会会議録の確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より説明(資料1の説明)</li> <li>・一同了承</li> </ul> <p>(2) 第2次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点プロジェクトの推進については、環境基本計画上、「環境保全推進協議会」に</li> </ul>	

て、その進ちょく管理を行うこととされている。平成 26 年度は、環境保全推進協議会設置要綱に基づき、協議会委員の選考を行い、第 1 回推進協議会を開催した。

- ・委員は、重点プロジェクト 1 「育てよう、いろんな生物がいる自然！」には、エコプラザ西東京登録団体「西東京自然をみつめる会」から高濱様、同じく「M e c 西東京」から末光様、また重点プロジェクト 3 「進めよう、地球温暖化対策！」には、同じく「ちくちくの会」の山根様の 3 名である。
- ・会議では、協議会の進め方や今後のスケジュール等が話し合われた。具体的な動きは平成 27 年度以降になる。年 4 回程度の会議を予定し、次回 4 月 30 日は、重点プロジェクトのそれぞれのテーマにおける課題等を持ち寄り、情報を整理する。
- ・現状では、3 名の市民委員のみで構成されているが、今後、検討内容等により、事業者及び所管の市職員に委員を依頼し、分科会を構成する。
- ・重点プロジェクト 2 については、西東京市廃棄物減量等推進審議会の審議により、その進ちょくを委ねることになっている。同審議会は、西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例及び西東京市一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の減量や再利用を促進するため、市民、事業者、行政の主体ごとの取り組みについて審議している。市では、平成 26 年度の取り組みとして、生ごみ回収、資源物の拡大等を挙げており、この点について審議会で様々なご意見等をいただいている。

○会長

- ・推進協議会の各重点プロジェクトについて、委員に事業者は入っているか。

○事務局

- ・現状では入っていないが、方向性が決まったら、分科会を立ち上げ、その際に事業者にもご参加いただく。

○二宮委員

- ・重点プロジェクトに関して予算化はしているのか。

○事務局

- ・重点プロジェクトでの具体的な取り組みや方向性が決まったら、予算化する予定である。

○会長

- ・来年度検討して具体化していくということであるか。

○事務局

- ・そうである。

○石崎委員

- ・資料 3 の P72 に挙げられている「重点プロジェクトで目指すテーマ」は、優先順位はあるのか。また、市民の意見は反映されているのか。

○事務局

- ・優先順位は特にはないが、これらのテーマから逸脱しない範囲で行う。また、テーマは、前審議会や環境基本計画の改訂に伴う意見募集で寄せられた市民や事業者の意見

が反映されている。

○会長

- ・重点プロジェクトは、第2次環境基本計画上、市の独自の事業ではなく、市民や事業者の協力を得ながら進めることとしている。その協議の中で優先順位が付けられているのではないかと。

○事務局

- ・推進協議会で検討していく中でできるところから取り組んでいく予定である。

○会長

- ・参加している3名の市民委員は、個人というより団体の代表として参加しているという認識で良いかと。

○事務局

- ・そうである。
- ・市民委員が所属している各団体の活動を紹介する。「西東京自然をみつめる会」は、旧東大農場の生き物や公園の動植物の観察を中心に活動している団体である。「Mec西東京」は、石神井川の保全やホタルを育てようとする活動等をしており、他の自治体や河川団体との連携も期待できる。「ちくちくの会」は、地球温暖化に興味があり他の関連団体とも繋がりがあがる。市が課題を投げかけ、共に活動していくことができる団体だと考えており、随時進行管理も行う予定である。

○会長

- ・このような方々に活躍していただくのは良いことである。
- ・重点プロジェクト2については、事務局の報告があれば必要に応じて西東京市廃棄物減量等推進審議会に投げかけるということによろしいかと。

○事務局

- ・そのようにする。

(3)西東京市環境マネジメントシステム運用状況報告について

○事務局

- ・西東京市では、環境マネジメントシステムとして、平成20年度からエコアクション21を運用している。これは、環境省が策定した中小事業者向けの環境マネジメントシステムで、事業活動から排出される温室効果ガス発生抑制を目的としている。本市では、平成23年3月策定の「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」の進捗状況を図るツールとしても利用している。
- ・主な取り組みとしては、市の事務事業による電気、ガス、水道の使用量の抑制、廃棄物排出量の抑制、環境学習の推進、環境関連法規制の遵守等がある。この取り組みは、エコアクション21中央事務局によって審査され、認証が与えられる。審査は2年に一度行われ、先月28日から3日間に更新審査が行われた。特に大きな指摘等も受けておらず、認証の継続が認められるものと思われる。

○二宮委員

・エコアクション21とは、ISO14001との関係はどのようなものであるのか。

○事務局

・ISOは細かい規定が多いが、エコアクション21は、中小企業をターゲットとして二酸化炭素の削減や光熱水費の削減等の目に見える効果がある。

○二宮委員

・認証機関はどこであるか

○事務局

・認証機関は、一般財団法人持続性推進機構である。エコアクション21中央事務局の他に地域事務局がある。

○伊藤(理香)委員

・会社でもエコアクション21の認証を受けており、中小企業に取組みやすく、通常業務の中で取り組むことができる。エネルギーの使用状況を経費ではなく、使用量として把握することで、現状を見直す機会となり、社員の意識も変わってきた。

○伊藤(治)委員

・会社では、ISO14001を認証取得している。企業取引では、ISOを求められることが多いが、エコアクション21でも構わないのであれば、ISOでなくても良いのだと思う。

○会長

・伊藤(治)委員の会社では、専門部署を置いているのか。

○伊藤(治)委員

・1998年に取得し、比較的早くから環境に配慮している。また、環境専門部署を置いている。

○渡辺委員

・環境マネジメントシステムは、他の市町村でも行っているのか。

○事務局

・都内の自治体でエコアクション21を取得しているのは、西東京市の他に3自治体ある。また、ISO14001や独自のマネジメントシステムを運用してる自治体、何もしていない自治体など様々である。

○会長

・西東京市の環境マネジメントシステムの運用は長いのか。

○事務局

・平成15年度にISO14001を認証取得し、平成20年度よりエコアクション21を運用している。

○渡辺委員

・エコアクション21を目標として経費削減にもつながっているのか。

○事務局

・第一は二酸化炭素の削減だが、経費削減にもつながっている。

○会長

・エコアクション21に関して市の取り組みの他に民間をサポートするものはあるのか。

○事務局

・エコアクション21認証取得セミナーの開催と認証取得費の一部助成を行っている。

○小野委員

・エコアクション21は中小企業向けとのことであるが、マンションや集合住宅でも取り組むことができるのか。

○事務局

・エコアクション21は、事業活動をしていることが条件となっている。

○会長

・マンションや集合住宅向けの対応はあるのか。

○事務局

・クール・ネット東京（東京都地球温暖化防止活動推進センター）では、家庭に省エネアドバイザーを派遣する制度がある。

○川崎委員

・環境マネジメントシステムの運用に向いている業種はどのようなものか。

○事務局

・全ての業種に対応が可能であるが、数値を出して一目でわかるので製造業などが向いている。

(4) 平成25年度西東京市環境白書・環境活動レポート作成について

○事務局

・昨年11月に平成25年度の環境白書を発行したので、報告する。

・環境活動レポートは、エコアクション21の要求事項になっており、市の事務事業における環境負荷低減のための取り組みやエネルギーデータの結果等を掲載している。

・「平成25年度の西東京市の環境基本計画の取り組み状況」（P7～20）は、環境基本計画の基本方針1から4について、それぞれの環境指標に基づいた取り組み結果を示している。

・「市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組み」（P21～26）以降は、エコアクション21の環境活動レポートとなるものである。環境目標は、西東京市第二次地球温暖化対策実行計画に基づくものである。

○会長

- ・市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組みで、エネルギーに関する取り組み状況に時系列資料がない。また、温室効果ガス排出係数の時系列もあるとより良い。

○事務局

- ・単年度で数値を報告しているが、次回以降は、時系列でのグラフ化や排出係数の変動についても示したい。

○副会長

- ・公用車は何台数あるのか。

○事務局

- ・ガソリン車 90 台、軽油車 22 台、天然ガス車 21 台、電気自動車 2 台の合計 135 台である。
- ・計画的にエコな車に買い替えている。

○二宮委員

- ・市の事務事業による温室効果ガス削減の取り組みに挙げられている目標は、トップダウンであるのか。また、部門ごとに出しているのか。

○事務局

- ・目標は、平成 23 年 3 月策定の西東京市地球温暖化対策実行計画に基づいている。策定作業を行った平成 21 年度を基準とし、その基準以下にすることを目標としている。

○二宮委員

- ・部門別に把握ではなく、一括で目標を管理するのは難しくないのか。

○事務局

- ・市としての報告のため全体の結果になっているが、部門別の把握もしている。

○伊藤(理香)委員

- ・すべてを環境に優しい車に変えることは難しいと思うが、今走っている車のメンテナンスも行っていただきたい。排ガス抑制などの点検費用の予算付けをお願いしたい。

○渡辺委員

- ・ p 15 にある「ごみ分別アプリ」をご存知の方はどれくらいいるのか。実際に使ってみるとわかりやすい。どれくらいダウンロードされているのだろうか。市役所で実際に触れる機会があると良い。

○事務局

- ・QR コードの備えつけを行っている。ホームページでのごみ分別のアクセス件数は多く、ホームページを利用している市民もいる。

○伊藤(理香)委員

- ・ごみカレンダーは見やすく便利だと感じている。

○渡辺委員

- ・ごみ分別アプリには、ごみカレンダーよりも多くの情報があり、動画もある。もっと広める運動が必要なのではないか。

○事務局

- ・ごみ分別のアプリは、西東京市の立地条件や若い年代の転入などからごみの有料や分別になじみのない市民への対応として開発した経緯もある。今後もPRに努める。

○会長

- ・環境目標に対する評価は全体的に○が多いが、×の項目もある。×という評価であっても取り組みには努めていたのではないか。また、地球温暖化に対する効果はもう少し内容に立ち入って考えないといけないので、次回のレポートでの経年比較などの分析を期待する。

○小野委員

- ・P11「大気中ダイオキシン類濃度の環境基準」のグラフで、平成 19 年度の青嵐中学校の値が他に比べて大きくなっているのはなぜか。

○事務局

- ・その年に何か特別なことがあって値がはねあがったわけではなく、調査期間中に近隣で野焼きをしていた可能性が考えられる。なお、環境基準には全く問題のない範囲である。

(5) その他について

○事務局

- ・今後の審議会については、年間2回から3回の開催を予定しており、平成 27 年度は、7月頃に第1回を予定している。日程は、近くなりましたら事務局から照会する。

3 閉会

○会長

- ・本日の環境審議会は以上で終了とする。

以上